

市町村名		豊見城市					
平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	瀬長島観光拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	経済建設部 公園緑地課	事業実施(予定)年度	平成24年~28年		観光客の受入体制の整備		
事業内容	平成24年度策定の「瀬長島観光拠点整備計画」を踏まえ、観光拠点の整備を実現するため、必要な施設並びに設備等の整備を行い、島全体の利便性の向上を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(33年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	27年度(繰越)	28年度	28年度(繰越)	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	264,000	0	173,660	0	
		(b)予算現額	298,110	0	155,920	0	
		(c)増減額(b-a)	34,110	0	△17,740	0	
		(d)繰越額	-	142,880	-	10,086	
	A. 計(b+d)		298,110	142,880	155,920	10,086	
	B. 執行済額		155,230	121,021	145,834	9,590	
	うち交付金充当額		124,183	96,817	116,667	7,672	
	次年度繰越額		142,880	0	10,086	0	
	執行率(%) (B/A)		52.1%	84.7%	93.5%	95%	
予算の状況の説明		工事において、関係機関との調整に不測の日数を要したため、10,086千円を平成29年度に繰越した。不用額496千円については、委託、工事の入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	瀬長島内の施設並びに設備等の整備を実施。(委託、防犯灯施設490m、駐車場等施設、レトロ角柱、サイン看板)	目標	( 整備を行う )	( 整備を行う )	( 整備を行う )	( )	
		実績	整備	整備	整備		
	目標	( )	( )	( )	( )		
	実績						
達成状況説明	平成28年度に防犯灯設置工事、駐車場等施設整備工事、レトロ角柱設置工事を行った。平成28年度から平成29年度にかけて委託業務、サイン看板設置工事を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(33年度)
	全体整備計画の事業100%完了(委託、防犯灯施設490m、駐車場等施設、レトロ角柱、サイン看板の完了)による瀬長島全体の利便性向上	目標	( )	( 整備を行う )	( 整備を行う )	( 整備を行う )	( )
		実績		整備	整備	整備	
	【H33成果目標】 事業完了以降の瀬長島における将来の来島者数	目標	( )	( )	( )	( )	( 160万人 )
実績							
進捗状況説明	・防犯灯設置工事を行うことによる防災性・防犯性の向上を図り、駐車場等施設を整備することにより多くの来島者の利便性向上が図られている。平成28年度をもって全体整備計画の事業が100%完了した。 ・中間目標値の設定にあたっては、瀬長島観光拠点整備事業開始当時に調査した推計来島者数が100万人であったことから、事業完了以降の島全体の魅力向上を仮定して、160万人を目標とする。						

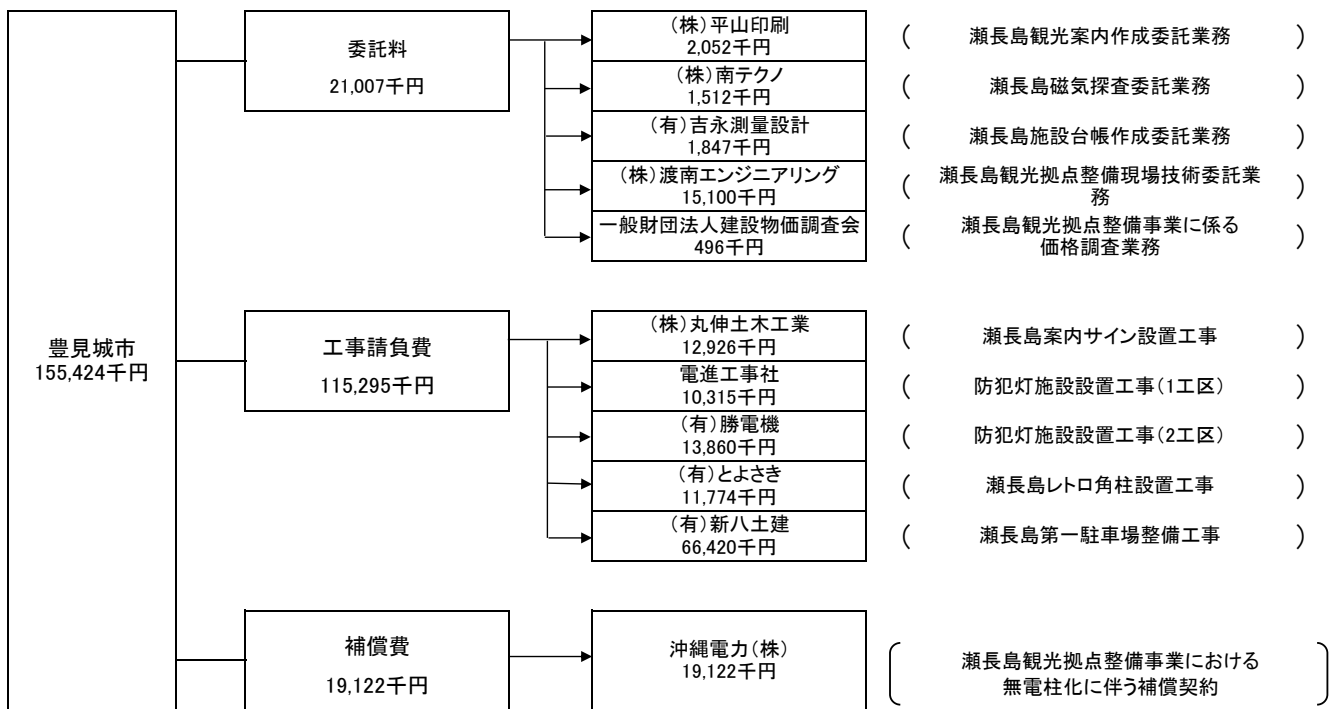
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・整備したことにより観光客の受け入れ態勢が整い、今後一層観光客が多く訪れることが予想される。</p>	<p>・イベントなどの際や観光シーズン時には、瀬長島への来島者がたくさん訪れることが想定されるため観光客の安全性を考慮していく必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

・大多数の人が集まるイベント時には、渋滞の発生が予想されるため、注意看板等を設置し、周知・告知を行う。また、警備員や交通整理員を配置させ、観光客や利用者の安全を確保するよう指示する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
155,424	155,424	124,339	31,085	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は、本市指名委員会で選定した業者の中から指名競争入札を実施して選定しており、妥当だった。 ○事業年度に見合った予算規模で適正であったと考える。 ○費用・用途について、事業目的の観点から必要なものなのか等については、額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

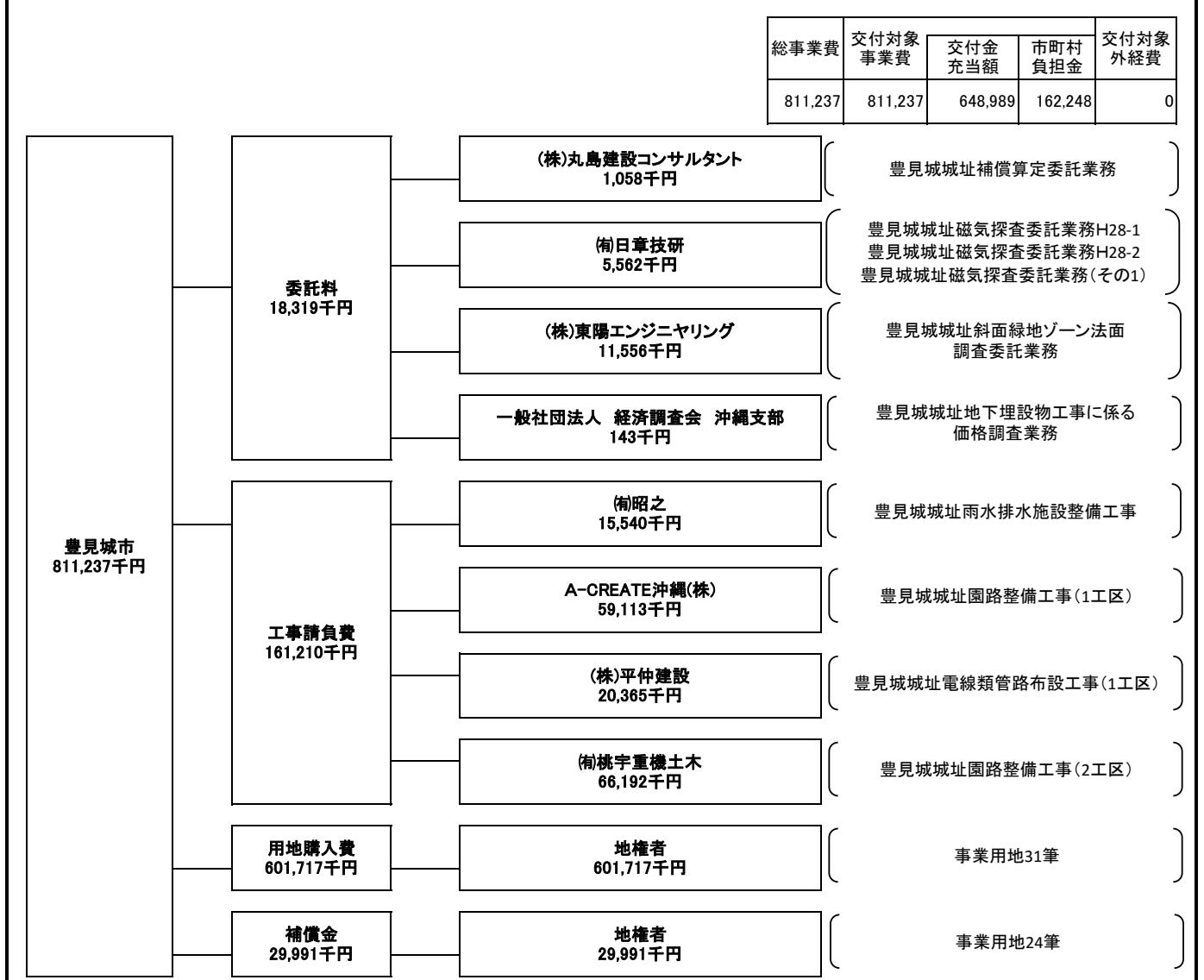
市町村名		豊見城市					
平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		文化観光創出事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
	担当部課名	経済建設部 公園緑地課		事業実施(予定)年度	平成24年~33年	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容		H25年度策定の「豊見城城址跡地利用計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、用地を取得し必要な施設等の設計や整備等を実施する。					Ⅲ-1-(1)
	効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(34年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(公有財産購入費、補償費)						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	28年度(繰越)	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	442,000	529,761	0		
		(b) 予算現額	1,006,045	832,936	0		
		(c) 増減額(b-a)	564,045	303,175	0		
		(d) 繰越額	—	—	91,048		
		A. 計(b+d)	1,006,045	832,936	91,048		
	B. 執行済額		1,003,953	741,888	69,349		
	うち交付金充当額		803,162	593,510	55,479		
	次年度繰越額		0	91,048	0		
	執行率(%) (B/A)		99.8%	89.1%	76.2%		
予算の状況の説明		平成28年度繰越予算額91,048千円の内、委託費予算現額3,740千円(執行額3,156千円)、工事費予算現額87,306千円(執行額69,348千円)を執行しております。工事費執行額が予算現額より大幅に下回った(21,113千円)のは、園路整備工事予定箇所の用地買収を行うことが出来ず、その部分の整備を次年度以降に先送りすることとなったため。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度(繰越)	29年度	
	・豊見城城址跡地用地(約16,600㎡)の用地取得と立木等の補償 ・園路及び地下埋設物、雨水排水施設等の整備 ・斜面緑地ゾーン法面調査実施設計	目標	( )	( )	( 園路及び地下埋設物、雨水排水施設等の整備 )	( )	
		実績			園路及び地下埋設物、雨水排水施設等の整備		
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	平成28年度繰越予算額91,048千円の内、委託費予算現額3,740千円(執行額3,156千円)、工事費予算現額87,306千円(執行額69,348千円)を執行しております。工事費執行額が予算現額より大幅に下回った(21,113千円)のは、園路整備工事予定箇所の用地買収を行うことが出来ず、その部分の整備を次年度以降に先送りすることとなったため。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度(繰越)	目標値(34年度)
	・平成30年度中の一部供用開始に向けた事業の着実な実施(用地全体の約70%確保)、園路、雨水施設等の整備と調査設計の実施。	目標	( )	( )	( 事業用地60%取得 )	( 設計、工事、用地、補償の実施 )	( )
		実績			事業用地60%取得	設計、工事、用地、補償の実施。	
	【H34成果目標】 年間来場者数	目標	( )	( )	( )	( )	( 延べ2万人 )
		実績					
	進捗状況説明	・全体取得予定面積のうち累計で約76%取得した。 ・園路及び地下埋設物の一部区間において整備供用済み。引き続き関係機関との調整を踏まえ、未整備区間の園路等の整備予定。 ・平成28年度予定箇所の雨水排水施設においても整備済み。 ・中間目標値の設定にあたっては、県内グスクの年間利用者を参考に施設条件などを考慮した結果、供用開始後において、本事業により整備した施設の年間利用者を延べ2万人を目標とし、利活用の促進に向けて県事業等で整備する施設との連携を図っていくこととし、目標数値を設定した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用地の取得に際し、地権者との調整(土地購入の内諾、契約等)に時間を要した。</li> <li>・取得した用地を適切に管理・整備を行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用地の取得に際しては、地権者の理解を得ながら粘り強く説明を行う必要がある。</li> <li>・取得した用地に対する発掘調査や整備を順次実施して早期の整備及び事業費の平準化を図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・残りの事業用地についても早期取得に努める。
- ・取得した用地については、今後の発掘調査を含め園路及び雨水排水施設等の施設整備を行うとともに適切な管理運営に努める。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流点、検査項目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は、本市指名委員会で選定した業者を指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○予算は、設計業務等積算基準書、工事標準積算基準書などより算定していることから、予算規模は事業内容と見合っていると考える。 ○費目、用途については、事業目的の観点から、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適性であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	